

ACP講演会に係る希望テーマ・講師の調査結果一覧

【資料第3号】

	希望講師	理由	希望テーマ	理由
石垣部会員	平原 佐斗司先生(東京ふれあい医療生活協同組合研修・研究センター)	平原先生は一般社団法人日本在宅医療連合学会副代表理事の他、一般社団法人日本エンドオブライフケア学会の理事を務めており、在宅医療、終末期医療に造詣が深く、高齢者のACPに関して第一人者の一人です。	・認知症高齢者のACP ・非がん疾患高齢者のACP	今後増大する文京区の高齢者のケアについて、ACPは非常に重要。がん患者は短い予後であるのに比べ、認知症や非がん患者は経過が長く、ACPのプロセスも複雑で長期に亘ります。介護従事者にとって、切実かつ重要なテーマでありますので、医療と介護が連携し、適切なACPを学んでほしいと思います。
宮本部会員	山岸 暁美先生(慶応義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室)	現在、人生の最終段階における医療ケアについて本人の意思が尊重される環境整備に資することを目的にE-FIELD Homeの研修事業を行っている(厚生労働省委託事業) ※私はファシリテータとして時々お手伝いしています。	・一般市民向けの講演会「人生会議とは」 ・医療・介護事業者向けの講演会または研修会	ACPそのものの理解を深める目的として行い、どのようにすすめていくのか実際を知る必要がある。
佐々木部会員			今後の話をするのはどのようなタイミングなのか	もともと話の出来る方は、今後について話しているが、今が健康だ、先は解らない等まったく先の話の出来ない方も多くいる為、きっかけやタイミング、方法等参考にして行きたい。
名取部会員		以前分かりやすい倫理・・・という内容で 箕岡真子先生のお話も分かりやすかったですが、だいが前のことなので本会の趣旨に沿っているかどうか？ご検討ください。		講演会は一般区民に向けて・・・ということで良かったでしょうか？ いきなりACPといっても敷居が高いのではないかと思います。 自分の人生を悔いなく送るには・・・自分のことから、身近な家族や友人のことなどまで考える時、なにかからまず始めるか？という感じのテーマでしてはいかがでしょうか？
岩井部会員	とりくみ実績のある医師		ACP(人生会議)とは？ 実例をもとに考えてみる。	まだ十分に周知されておらず、基礎的な研修がよいと思う。
新井部会員	ACPIについてお話をいただける方		各職種の方による、ACPIについての寸劇	以前、東京都医師会で開催されたACPの講演時にそうした寸劇が行われ、各職種が関わり何ができるか、わかりやすかったため。